



同窓会会報

発行：獨協埼玉高等学校同窓会 発行人：小久保 博史

〒343-0037 埼玉県越谷市恩間新田寺前316

☎048-977-5441 FAX048-977-2031

URL <http://www.dokkyo-saitama.com/>

同窓会長 小久保 博史

同窓生の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より同窓会活動ならびに母校の発展に対し、格別のご理解とご協力を賜っておりますこと、心より御礼申し上げます。

さて、過日開催を予定しておりました同窓会総会ならびに懇親会につきましては、台風接近に伴う悪天候と安全面への配慮から学校が休校となり、やむを得ず急遽中止とさせていただきます。ご多忙の中、予定を調整しご出席を予定されていた皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを、心より深くお詫び申し上げます。また、

遠方よりお越しになる予定であった皆様、準備にご尽力いただいた関係者の皆様にも、重ねて感謝とお詫びを申し上げます。開催直前での判断となりましたが、参加される皆様の安全を第一に考えたうえでの決定でございました。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。本来であれば、世代を超えて旧友や恩師との再会を楽しみ、交流を深める貴重な機会となるはずでしただけに、私ども役員一同も大変残念な思いであります。

一方で、このような状況の中でも、多くの皆様から温かいお言葉や励ましをいただき、改めて同窓会の絆の深さを感じております。母校は4年後に創立50周年という節目を迎えます。同窓会といたしましても、この歴史と伝統を大切にしながら、次の世代へつなげる交流の輪を広げ、母校のさらなる発展に寄与できるよう努めてまいります。

今後とも同窓会活動への変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



前校長からの挨拶

第7代 獨協埼玉中学高等学校校長

尾花 信行

同窓生の皆さん、こんにちは。お元気で過ごされていますか。昨年度も多くの同窓生と会う機会がありましたが、みなさんがそれぞれの分野で

活躍している様子に大変嬉しく思いました。そしてこの春もそれぞれ夢と希望と強い意志を持って巣立った卒業生が新たに同窓会の仲間となりました。多くの同窓生とともに歩んできた獨協埼玉は間も無く高校創立から50年。大きな節目を迎えようとしています。同窓生の皆さんには、益々強いつながりを持って獨協を盛り上げていただければと思います。

さて、私、尾花はこの3月に退職し42年間の教員生活に終止符を打ちました。大学時代も含めればこれまでの人生のほぼ3分の2を獨協学園とともに過ごしたことになります。振り返れば沢山の出会いがあって、想い出は数えきれません。文化祭の劇も、体育祭の一体感も、修学旅行も、語学研修も、あれもこれも、そして授業も。教師として生徒のみんなに教えているつもりが、逆に教えられていることもたくさんあって、若い頃はそれこそ生徒のなかに紛れてワイワイやったり。歳を重ねても、常に若い生徒たちに囲まれてたくさんパワーをもらいました。勿論、辛いときや苦しいときもありました。でもやっぱり、教師という職業を選んで良かった、というのが率直な感想です。本当に良かった。楽しかった。

これからは、みなさんと同じように獨協に育てられた者として皆さんと会える機会を楽しみにしています。

これまで出会えた皆さん、ありがとう。そして獨協埼玉、ありがとう。

獨協埼玉高校
同窓会連絡先

〒343-0037 埼玉県越谷市恩間新田寺前316

TEL：048-977-5441

FAX：048-977-2031

住所変更・お問い合わせはこちら
(Googleフォームよりご回答下さい)

訃報

本会創立以来、長年にわたり副会長として多大なご尽力をいただきました 〇〇〇 氏 (享年59) が、2026年5月12日に永眠されました。創立から今日に至るまで、これまでの多大なるご貢献に心からの敬意と感謝を捧げますとともに、謹んでお悔やみ申し上げます。

退職にあたって

昨年度、先生、先生の2名の先生方がご退職されました。

●先生

皆様、こんにちは。ご無沙汰しております。

獨協埼玉中学高等学校には7年間お世話になりました。授業や部活動、様々な行事に宿泊学習など、どれも思い出に残る素晴らしい日々を過ごさせていただきました。

好奇心旺盛に学ぶ生徒たちの姿、高校女子バスケットボール部での念願の県大会出場時の歓喜、バドミントン部の皆が引退間際に見せてくれた目覚ましい急成長。そして、体育祭や蛙鳴祭で最後には見事にまとまる素晴らしい団結力など、今でも鮮明に思い出されます。

また、チーフを務めさせていただいた奈良・京都や沖縄への宿泊学習では、準備や引率の苦労もありましたが、生徒たちが真剣に学び、心から楽しそうにはしゃぐ姿を見られたことは、私にとって何物にも代え難い喜びでした。今振り返っても、まさに「青春が詰まった、学校らしい学校」であったと感じております。

在職中、未熟な私を温かく支え、自由に挑戦させてくださった先生方にも心より感謝申し上げます。

獨協埼玉での経験は、私にとって大きな財産です。皆様のご健勝と、獨協埼玉中学高等学校の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



右から3番目（後列右）

●先生

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか？2019年度から2025年度まで、7年間獨協埼玉でお世話になりました。獨協埼玉で過ごした日々を思い出すと、楽しく仕事をさせていただいた場面ばかりが思い出され、よき同僚と生徒たちに恵まれた素晴らしい職場でした。後にも先にも、学校内でバーベキューができる学校には、もう巡り合うことはできないと思っています。そうしたある種の「自由さ」や良い意味での「ゆるさ」は、変化を厭わず、常に新しいことにチャレンジできる、まるで老舗ベンチャーのような校風を形作る重要な要素だったのだと思います。その中で仕事をさせていただいた経験は、間違いなく私の人生の財産です。獨協埼玉で働くことができ、心の底から幸せ者だったと思っています。

現在は東京都の私立高校で教員を続けております。車通勤から電車通勤になり、世の中のサラリーマンの辛さを身をもって体感しつつ、3年生の授業を担当し、部活動は水泳部を離れ、女子バレーボール部を担当しております。場所も生徒の様子も校風も全く異なり、部活も水中から地上を飛び越えて空中の競技を担当することになり、環境の変化に適應するだけで精一杯の日々ですが、何とかこちらでも元気にやっています。今年は初心に立ち返り、改めて本気で英語に向き合おうと、「ゼロからの授業改善」をテーマに仕事に取り組むことにしました。獨協埼玉で培ったチャレンジ精神を胸に、これからも教員として更に成長すべく精進してまいります。

最後になりますが、同窓生の皆様のご健康とご多幸を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



右から6番目（前列右）

懐かしき先生方からの言葉

●先生

なんと茫々50年、今は故人となられた新宮先生や紀内先生、今もご健在の加倉井先生と4人で新設の獨協埼玉高等学校の生徒募集に駆け巡ったことがまるで昨日のことに思い出されます。

目白にある獨協高校から来た私どもは、建設中のだらっ広い校舎とイタチや雉などが駆け巡るグラウンドにはとにかく驚かされました。

そこに一期生の君たち、続いて二期生の君たち、そしてようやく男女共学が実現した三期生の君たちが来たのです。ガラガラだった広い校舎が生徒たちで溢れるようになりました。

伸び伸びと楽しく、とにかく自分で考えて自分で決める、そ

うした若者を育てたいというのが私ども教師の願いでした。

さて、その願いはどの程度叶ったのでしょうか。

健康上の理由で同窓会には参加できませんが、卒業生諸兄諸姉のますますなご健闘を祈念してお祝いの言葉とします。

●先生（旧姓 ）

～支え愛のバトン～

私は過日、「退職教職員をつどい」に参加してまいりました。小栗、古田両先生のご発案ご尽力によるつどいが初めて開催されました。大先輩の先生方がとてもお元気で嬉しく、当時の懐かしい物事が鮮やかに蘇りました。旧交を新たに楽しく歓談させて頂きました。

私が本校に勤め始めた41年前は開校6年目、若く若葉のよ

懐かしき先生方からの言葉

うな学校でした。先輩先生方にさまざまな指導を頂いて毎日手探りの授業をしていました。懐かしく感慨深いものがありました。

さて、今私は卒業生の皆様のご活躍がとても嬉しいです。本校では卒業生の皆様が教職員として多数ご活躍中です。来校の折にはご多用中にもかかわらず懐かしい皆様と歓談させて頂き感謝しています。また先日は偶然にも卒業生がご担当のお医者様でした。マスクの奥から「私は獨協埼玉の卒業生です。覚えていますか？授業受けていました。」と言われ本当にびっくりしました。再会でできて嬉しかったです。俳優でご活躍中の卒業生の舞台を観るのも楽しみのひとつです。各地の公演に出かけ元気を頂いています。電車内や街中で卒業生によく遭遇します、それもドキドキ楽しいです。

獨協埼玉創立 50 周年まであと僅かですね。獨協埼玉中学高等学校の更なるご発展を心よりお祈りいたします。

退職教職員のつどい



元校長をはじめ、久しぶりに一同に会された懐かしい先生方。現役時代の思い出話や近況報告に花を咲かせていらっしゃいました。先生方の仲睦まじく、リラックスした笑顔がとても印象的な 1 枚です。
(2026 年 3 月 25 日撮影)

体育祭 TAT2 T シャツ、歴代の一文字

高校体育祭において、高 3 の体育委員・体育祭係は学校全体を支える存在です。主役ではなく裏方です。華やかな舞台を支える「黒」子です。STAFF の文字は「裏」返しています。2002 年から始まり今年で 25 年、獨協埼玉体育祭の文化となっています。2005 年から 2012 年までを [X] 先生、2013 年からは [X] 先生に書いていただいています。是非、思い出と一緒に振り返ってみてください。

2026

魁

2002

喝。

2003

極

2004

獅

2005

舞

2006

瞬

2007

響

2008

爛

2009

繫

2010

迅

2011

愛

2012

激

2013

煌

2014

蓮

2015

凜

2016

誇

2017

志

2018

挑

2019

絆

2020

虹

2021

光

2022

翔

2023

創

2024

魂

2025

仁

新しい風

新任教員紹介

今年度より、新たに5名の教員が着任いたしました。



[X]
(国語科)



[X]
(国語科)



[X]
(数学科)



[X]
(理科)



[X]
(外国語科 英語)

キャリア教育支援特別報告

未来への懸け橋

Brücke in die Zukunft
ツークunft

「君たちは可能性そのものだ」

獨協学園中興の祖、獨協大学初代学長である天野貞祐先生の力強いメッセージは、未来を担う生徒たちの潜在能力、可能性を引き出し、「自ら考え、判断し、行動することが出来る若者」を育てていく獨協埼玉の方針そのものです。

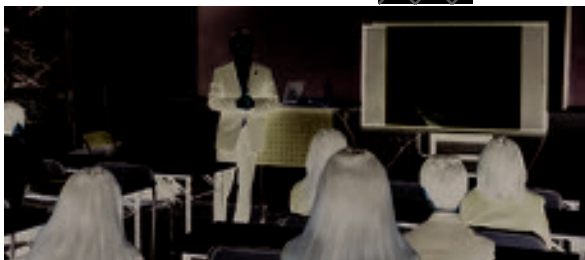
本校では、「未来への懸け橋」として、大学の教員による出張講義や大学訪問を行い、本物の「学び」に触れ、自分の将来の可能性を広げる機会としています。また、卒業生座談会は、身近なロールモデルから本音のキャリアパスを学べる機会になります。先輩たちの言葉は、生徒たちの「可能性」を引き出し、明日からの行動を変えることにもつながります。

同窓会として、このようなキャリア教育に協力することは、母校の現役生への恩送りです。学校側と連携し、同窓会の強みを生かした協力をしていきたいと思ひます。

講演1：OBからのメッセージ

「どうやって進路を決めよう？—難病研究の例から—」

さん（1期生）



共通のデザイン設計図「遺伝子」について解説する様子

「後輩の皆さんに伝えたいこと」

「さん、生徒たちにお話していただけますか？」

突然、さん先生からのご連絡で、大変光栄なことに母校で「未来への架け橋」としてお話する機会をいただきました。

丁度、還暦を過ぎて人生が残り少なくなり、「子供の時に大人が言ってくれていたら違ったかも。」と思う場面が多くなりました。そこで「これは神のお告げ」とばかりに、お返事した次第です。

先生からのご依頼は、私が大学で取り組んでいる難病研究の模擬講義と思われました。でも、私は研究よりも子供の時に言って欲しかったことをお話ししようと思ひ、「どうやって進路を決めよう？—難病研究の例から—」という題とさせていただきます。

これまでの経験から、人生を選択する際に大切なのは、「誰かのため」と考えるのではなく、「自分がやらずにいられないこと」を選ぶことではないかと考えます。中学や高校時代にそのことに気づいたら、きっと人生は大きく変わる。当日、そんな話を孫のように年の離れた後輩のみなさんにさせていただきました。

話のあと、目に涙を溜めて真剣に相談に来てくださった学生さんともいらして、少しでも母校に恩返しができただかも、とほっとして帰路につきました。

卒業生座談会 開催報告

人気の職業ランキングで上位の「国家・地方公務員」「ITエンジニア」として活躍する卒業生を招き、生徒との座談会を開催しました。

現在の具体的な仕事内容やその道を選んだきっかけ、在学中に力を入れたことなどを紹介。質疑応答では、生徒たちからのさまざまな質問に、先輩方が自らの経験をともに丁寧に答えてくださいました。

ご多忙のところ、ご協力いただいた卒業生のみなさま、ありがとうございました。

講演2：若手研究者からの授業

「科学って面白い！—若手研究者とみるウイルスと細胞の世界—」

さん（30期生）



一人一台の顕微鏡を準備し、高校生と組織標本を観察

今回の出張授業では、私が普段取り組んでいるウイルス学研究や大学での研究生生活について紹介しました。また、嬉しいことに理科室に一人一台の顕微鏡を準備していただき、高校生の皆さんと一緒に組織標本を観察する貴重な機会もいただきました。

高校生の前で講義をするのは初めてだったため、「専門的な話に興味を持ってもらえるだろうか」と内心ドキドキしていました。しかし、講義が始まると、高校生の皆さんは熱心にメモを取りながら話を聞いてくれ、顕微鏡観察でも何度も手を挙げて質問しながら楽しそうに取り組んでおり、その姿がとても印象的でした。また、受験勉強や将来の進路について話をする中で、一人ひとりが真剣に将来と向き合っていることが伝わってきました。学生さんと話しながら、私自身も高校時代に進路について悩み、先生方や友人に相談したり、科学に触れる機会を探したりしながら、将来やりたいことを模索していたことを思い出しました。今回の交流が、学生さんの進路選択の手助けとなったり、研究の世界に興味を持つきっかけの一つになれば、大変嬉しく思います。

今回、このような貴重な機会をいただけたことに感謝しております。今後も機会があれば、卒業生と在校生をつなぐこのような交流に、少しでも貢献できればと思います。

「獨協埼玉人財バンク」構築へのご協力依頼

母校の現役生に向けて、学校側と連携し、卒業生による「獨協埼玉人財バンク」を構築したいと考えています。「自分の経験が後輩の役に立つなら」「大学や仕事の面白さを伝えたい」という卒業生のみなさまは、以下のformよりご登録をお願いいたします。みなさまの多様なキャリアが、後輩たちの「可能性」を広げることにつながります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

※ご登録いただいた情報は同窓会事務局にて厳重に管理します。実際の個別依頼にあたっては、事前に事務局よりご意向を確認させていただきます。





写真部（高校）



実績：全国大会出場！



「永い道のり、遠い視線」



全国大会への出場が決まった時は、驚きと達成感で胸がいっぱいになりました。出品作品は合宿の際に撮影した一枚です。私の普段の生活にはない古風な情景に魅了され、その空気感を作品でどのように表現すれば良いのか考え撮影しました。写真部に所属し、芸術を表現することの難しさを痛感する日々でしたが、部員と共に試行錯誤を重ね、自分の写真における芸術性を探しました。全国の舞台で多くの方に作品を見ていただけることを光栄に思い、大会の場を存分に楽しんで臨みたいと思います。



今回、全国大会という大きな舞台に立てることへの感謝を忘れず、今までの学んできた様々な知識、技能を活かして精一杯取り組んでいきたいと思っています。出場できることが決まった際は嬉しさとともに自分の技術不足に対する不安もよぎりましたが、写真部で一年間、多くの先輩方や顧問の先生から学んだことを糧にし、自分の表現をより深めていくことができたと思うので、その成果を出せるよう努力していきたいです。全国のレベルの高い作品から多くを学び、悔いのない大会にしたいと思います。



「露珠」

囲碁将棋同好会（高校）



実績：県大会優勝！ 全国大会出場！



●将棋女子団体

藤井聡太さん（六冠）の大活躍もあって将棋界ではブチブームが続いていますが、女子団体チーム（先鋒、中堅、大将からなる3名より構成）を編成することは多くの学校で容易ではないようです。そうした中、本校では女子チームを組み県大会に臨み優勝チームとなり、今夏、秋田で開催される全国大会（全国高等学校総合文化祭秋田大会）の切符を手にすることができました。秋田でも良い戦いができるよう、個の力をますます磨いていきたいところです。将棋も、他の競技と同様に、勝ちからも負けからも多くを学べる成長の舞台です。全力で向き合い大いに成長できるよう、頑張ってください。

囲碁将棋同好会顧問



ラグビー部（高校）



実績：関東高等学校合同ラグビー大会 第3位！

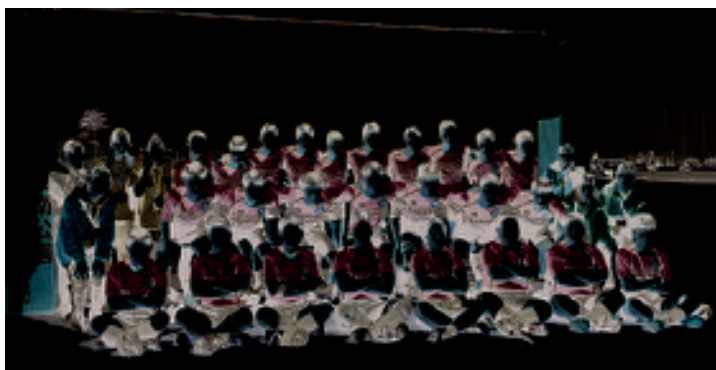
令和8年3月14日（土）・15日（日）に山梨県の御勅使南公園ラグビー場で開催された関東高等学校合同ラグビー大会において、3位の成績を収めることができました。

初戦では山梨県代表校に快勝し、続く準決勝では神奈川県代表校に惜しくも敗れましたが、3位決定戦において群馬県代表校に勝利し、3位入賞を果たしました。

本校からは埼玉県代表として、選手2名、マネージャー1名、そして私が監督として参加いたしました。大会を通じて選手たちは持てる力を十分に発揮し、貴重な経験を積むことができました。この経験を今後の活動に生かし、さらなる成長と活躍を目指して部員一同努力を重ねてまいります。

引き続き、ご支援・ご声援のほどよろしくお願いたします。

ラグビー部顧問



2026 年 2 月 21 日（土）に第 40 期「まほろばの会」が開催されました。当日は約 130 名もの卒業生が集まり、久しぶりに再会した旧友や恩師と、各所で懐かしい笑顔があふれていました。

学年主任の先生をはじめ先生方からのお話や卒業生による楽しい企画に、気がつけばあっという間に時間が過ぎてしまうほど、会場は終始にぎやかな雰囲気に包まれていました。卒業後の近況を報告し合う姿や、先生方が立派に成長した卒業生の様子を目を細めながら聞かれている姿など、この会ならではの温かな光景がいたるところで見られました。

最後は全員で集合写真を撮り、次なる再会の場である「ホームカミングデー～40 歳になったら学校に来よう～」での再会を楽しみに、名残惜しくもお開きとなりました。その頃には、それぞれがさらに豊かな人生のストーリーを携えて集まることでしょう。

結びに、今回のまほろばの会を陰で支え、一年前から準備を重ねてくださった幹事の皆さん、遠方からも足を運んでくださった卒業生の皆さん、そして卒業生の成長を誰よりも楽しみにお持ちくださっていた先生方——それぞれのお力がある、この温かな一日が生まれました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。（教員）



告知 41期生「まほろばの会」開催について

～ 2027 年 2 月 20 日（土）午後 食堂（現：コミュニティルーム）に集合～

2022 年度に卒業した 41 期生の皆さん、お元気ですか。

コロナの影響で、少し窮屈に過ごした高校生活でしたが、卒業後はどのような道を歩み、過ごしているのでしょうか。進学・就職など、この 4 年間で多くの経験をしてきたと思います。もう少しで大きな節目を迎える直前ですが、高校生活でやり切れなかった思い出を、みんなで取り戻しませんか？

ぜひ「まほろばの会」で、懐かしい仲間と再会し、語り合い、笑い合う時間を共に過ごしましょう。

「まほろば」とは、“古き良き場所”や“心のふるさと”を意味します。先生をはじめ、学年の先生方は皆さんの参加を心よりお待ちしております。41 期生のみんな、「まほろば」で会いましょう！！

（教員）



2022 年度 高校第 3 学年教員



2019 年度 中学第 3 学年教員

第 29 回 同窓会総会

6 月 27 日（土）に開催を予定しておりました総会は、台風の接近に伴い、皆様の安全を最優先とし中止といたしました。つきましては、急な変更に伴う緊急措置として、本年度の総会は同窓会 HP への資料掲載をもって報告事項に代えさせていただく「オンライン総会」として開催いたしましたことをご報告申し上げます。

同窓会 HP は
こちら



決算・予算報告

令和 7 年度 同窓会決算書

R7 年 4 月 1 日～R8 年 3 月 31 日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	39,519,310	総会・懇親会ハガキ費	773,505
終身会費卒業生	3,600,000	総会・懇親会費	28,475
懇親会会費	50,000	会報作成費	421,762
利息	43,772	会報発送費	839,147
		名簿データメンテナンス費	110,000
		HP 関連費（2025 年度）	26,400
		卒業証書フォルダー費	522,000
		慶弔費（花束）	4,400
		幹事会費	40,000
		振込手数料	5,720
		次年度繰越金	40,441,637
収入計	43,213,082	支出計	43,213,082

令和 8 年度 同窓会予算（案）

収入の部		支出の部	
R7 年度より繰越金	40,441,673	総会・懇親会ハガキ費	900,000
45 期生 終身会費	3,600,000	会報費	1,300,000
		幹事会費	100,000
		名簿データメンテナンス費	150,000
		HP 関連費	30,000
		卒業証書フォルダー費	600,000
		慶弔費（花束）	15,000
		予備費	40,946,673
収入計	44,041,673	支出計	44,041,673

第22期ホームカミングデー報告

2025年10月11日（土）、第22期ホームカミングデーが開催されました。当日は遠方から駆けつけてくれた仲間も含め、約120名の卒業生が懐かしい母校に集い、大変賑やかな一日となりました。

クイズ大会や当時の写真を映したスライドショーでは、まるで高校時代にタイムスリップしたかのように思い出話に花が咲き、終始和やかで楽しい時間となりました。一方で、恩師からのお話には、温かさだけでなく、年を重ねた今だからこそ深く心に響く重みがありました。卒業生として母校や恩師に恥じない大人であり続けようと、あらためて襟を正す大切なきっかけとなりました。

ご多忙の中ご出席いただいた先生方、ご参加くださった

同級生の皆さま、そして半年以上に渡りともに準備を進めてくれた幹事の仲間たちに心より感謝申し上げます。また皆さまにお会いできる日を楽しみにしております。

(22期  (旧姓: ))



S61, S62年
生まれ

祝! 2nd成人式!

23期生ホームカミングデー開催!!

ホームカミングデーとは、40歳を迎える学年が母校に集まり、恩師や旧友と再会するイベントです。今年度は10月17日（土）に開催いたします。久しぶりに懐かしい仲間たちに会える貴重な機会ですので、ご都合のよろしい方はぜひご参加ください。

(23期 )



教育実習を終えて



この度は、教育実習の機会と貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございました。私のピリーフである「対話すること」を意識し、先生方や生徒と積極的にコミュニケーションをとる中で、多くを学ぶことができました。

毎日が試行錯誤の連続で、指示の出し方や立ち振る舞いなど、成長を実感する一方、英語力や発問の工夫など、課題も明確になりました。今後も「対話」を軸に、課題に向き合いながら、人間性も含めてさらに成長していけるよう努めてまいります。

獨協埼玉中学高等学校 イベント各種

2026年度

年間スケジュール

3月～6月

- **学校説明会** (3/21, 4/25, 5/30, 6/13, 6/20)
学校の教育方針、カリキュラム、進学実績などをご説明します。在校生による学校紹介もあります。
- **中学部活動体験会** (春：5/9)
実際の部活動を体験！先輩たちと一緒に活動できます。
- **語学ミニ・レッスン in 獨協大学** (6/7)
ドイツ語・スペイン語・フランス語学科の教授から挨拶を世界のことばで学んで旅をしよう！

8月

- **学校説明会 in 獨協大学** (8/2)
高大連携プログラム、大学進学を見据えた教育体制などをご説明します。
- **中学体験授業** (8/22)
実際の授業を体験！先生たちの熱意ある指導と、楽しい学びの雰囲気を感じてください。
- **高校入試問題解説会** (8/22)
過去の入試問題を詳しく解説します。各科目の出題傾向や対策のポイントが分かります。

学校 HP はこちら
＊リニューアル
しました！



公式 Instagram
はこちら



公式 X はこちら
(高校広報係が
更新しています)



9月～12月

- **学校祭「蛙鳴祭」** (9/12,13)
生徒たちの熱気あふれる学校祭！クラス企画、部活動発表、モニュメントなど盛り沢山！いまの学校の雰囲気を肌で感じられる絶好のイベントです。
- **中学部活動体験会** (秋：10/3)
- **入試説明会** (9/20, 10/25, 11/22, 12/20)
個別相談会 (9/20, 10/25, 11/22, 12/20, 12/25)
各種複数回開催。入試の詳細、出願方法、合格のポイントなどを丁寧に説明します。



①学校説明会
生徒による学校生活・行事の説明



③語学ミニ・レッスン
獨協大学 外国語学部フランス語学科
田中善英教授



②部活動体験会
中学男女バレー部・中学男女バスケットボール部



④蛙鳴祭
公式キャラクター「じゃぼるん」



中学体験授業プログラム (詳細)

●英語

「英語でネイティブ教員とゲーム・アクティビティを楽しもう！」



●算数

「入試問題を実際に手を動かし、みんなで考えよう！」



●理科

- ①「生きたドジョウに大接近！
～顕微鏡でのぞく赤い血液の秘密～」
- ②「音の正体をあばけ！
～ゆれる振り子と踊る紙コップ～」
- ③「石から銅をつくる？
～金属の性質と化学の大変身～」

●社会

「戦国武将になって、オリジナル家紋を作ろう！」

2027年度

入試スケジュール

■中学入試

- 1月10日(日) **NEW!** 英語資格入試
1月11日(月)、12日(火)、17日(日) 第1・2・3回入試

■高校入試

- 1月22日(金) 単願入試
1月22日(金)、23日(土) 併願第1・2回入試

**2027年度入試より「英語資格入試」が導入されます！
～英語を入り口に、学びは広がる～**

実用英語技能検定(英検)の資格をお持ちの方を対象とした、あなたの可能性を広げる入試です。あなたが学んできた英語の学習を、“語学の獨協”でさらに磨き上げ、学びを広げていくください。

- 1月10日(日) 午後入試
選考：国語、算数の2教科入試
出願：実用英語技能検定(英検)4級以上
3級以上は15点加算

詳しくは
こちら



同窓会からお願い

- ①同窓会運営に関するご意見がありましたら、上記の理事・事務局・幹事までご連絡ください。またできる限り、総会に出席していただき、その場で意見を寄せていただければ幸いです。よろしくお願いします。
- ②住所などで変更がございましたら、獨協埼玉高等学校同窓会までお知らせください。
- ③同窓会は、同窓会活動を遂行する上で取得させていただいた皆様の個人情報(会報、同窓会が主催協力する行事等の開催案内の送付、学校で保有する卒業生データベースの補完のための情報提供に、これらの情報を利用します。
※なお、情報の提供に同意されない方は、事務局まで届け出ください。
※最近、同窓会を名乗り、電話で個人情報を聞き出そうとしている団体があるようです。本同窓会では、電話での問い合わせは一切しておりませんので、ご注意ください。